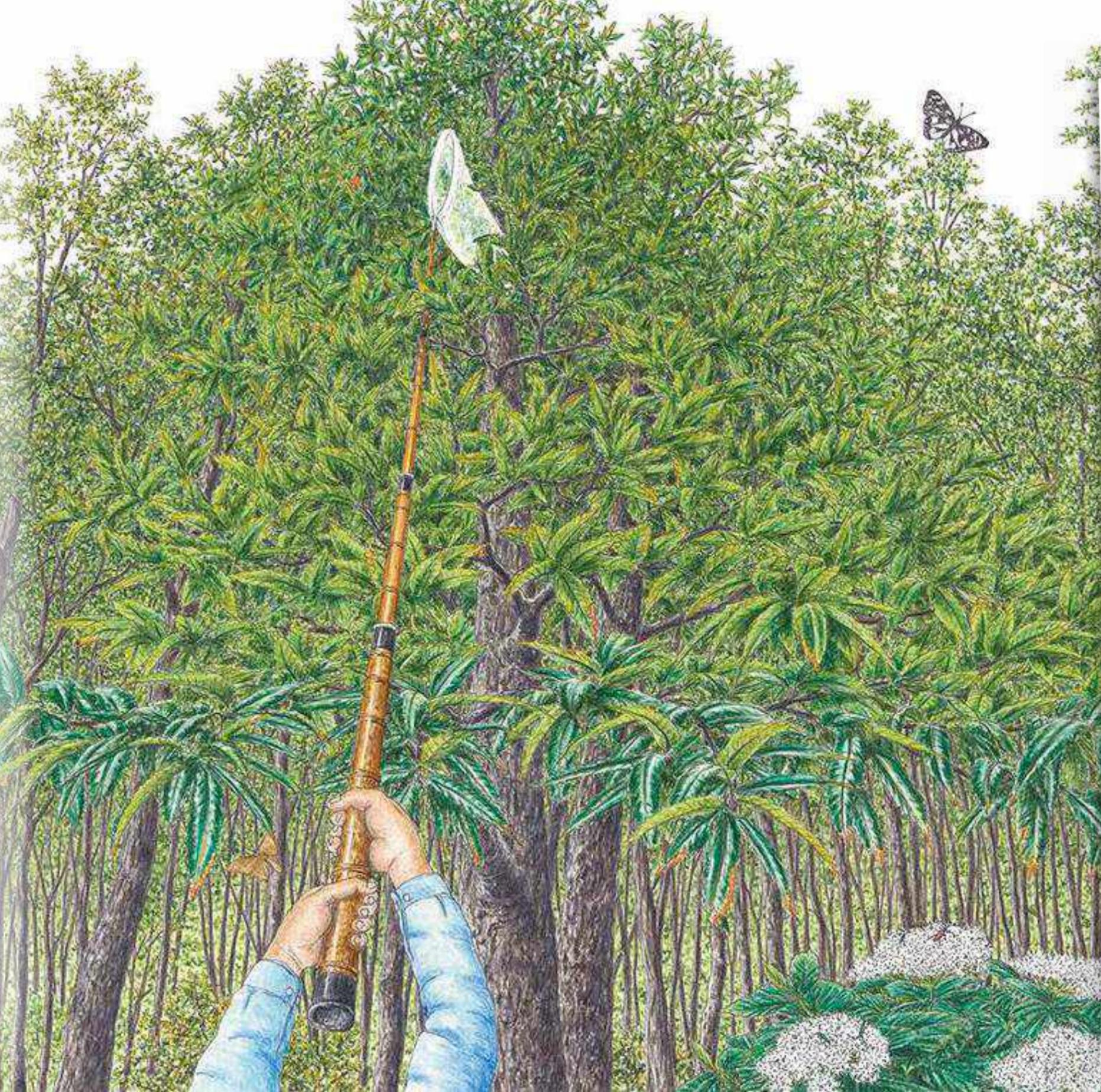


もくじ

はる	春	4
めふ	芽吹き	6
わかほ	若葉	8
しよ	初夏	10
しんりく	新緑	12
なつ	夏	14
じゆえき	樹液のにおい	16
よる	夜	18
むし	虫とり	20
あき	秋	22
どんぐり	どんぐり	24
こうよう	紅葉	26
ふゆ	冬	28
ふゆ	冬木立ち	30
ぞうきばし	雑木林の仕事	32
はる	伐採直後の春	34
きかぶ	切り株	36
しよ	伐採直後の初夏	38
ぞうきばし	雑木林のめぐみ	40
ぞうきばし	育っていく林	42
ぼっさい	伐採2~3年後の初夏	44
ぼっさい	伐採4~5年後の初夏	46
ぼっさい	伐採10年後の初夏	48
ぼっさい	伐採20年後の初夏	50
ぞうきばし	雑木林の生きもの図鑑	52
ほうき	放棄された雑木林	62
おわりに	おわりに	63
い	生きもの用語集	64
まえみかえ	前見返し	
さとやま	里山の自然	
ぞうきばし	雑木林は「切って育てる」	
うし	後ろ見返し	
むかし	昔の雑木林と今の雑木林	



はじめに

ゼフィルスと呼ばれるチョウを知っていますか？ 1年に1回、初夏から梅雨のころに、雑木林などに現れるシジミチョウのなかまのチョウたちです。

中学生までは、魚や水生昆虫の採集と飼育に熱中していましたが、高校生になってからチョウの美しさにひかれ、チョウの採集に熱中するようになりました。メダカやゲンゴロウを追っていた里山の谷戸の田んぼで、目の前に舞い降りたアカシジミを見たことがきっかけです。緑一色のイネを背景にした、あざやかなオレンジ色が印象的でした。

ゼフィルスには、オレンジ色のはねをもつ種類のほかに、ぴかぴかと青色や緑色に光りかがやくはねをもつ種類があります。雑木林のクヌギやコナラなどの広葉樹の樹上にすんでいて、種類ごとに飛びまわる時間がちがいます。とくに、青や緑のゼフィルスが、朝日や夕日を浴びて宝石のようにきらきらとかがやきながら飛びまわる光景には、時間がたつのを忘れるほど魅了されました。

採集をするためには、自分の身長3倍もある、長く重い「つなぎ竿」の捕虫網を使い、止まっていそうな木の枝葉をたたいて追い出します。うでは重くなり、上ばかり向いているため首も痛くなりますが、採れたときはつかれも痛みも忘れられました。

チョウを採集して雑木林を歩きまわっていると、ノウサギやタヌキ、イタチなどの小動物に出くわしたり、キンランやヤマユリ、リンドウなど花の美しい野草に出会ったりしました。目的のチョウが採れなくても、いろいろな生きものに出会えたことが楽しい思い出です。

この本は、そんな思い出をもとに、里山に関する資料も参考にして、「切って育てる」をくり返していた、少し昔の里山の雑木林の1年と、木を切ってからもとの林にもどるまでの20年をえがいたものです。雑木林を散策しているつもりになって、たくさんの生きものをみつけ、季節の移り変わりを感じてもらえると、うれしいです。切られた林が育っていくにつれ、そこに現れる生きものが変わっていくようすを、じっくりと見てください。

瀬長剛

虫とり

はやお
早起きしてあのクヌギに
いちばん
一番のり。

クワガタもいるかもしれない。

いた花。いた花。
カブトムシがいた花。
大きい花。



クヌギ

ミヤマクワガタのオス

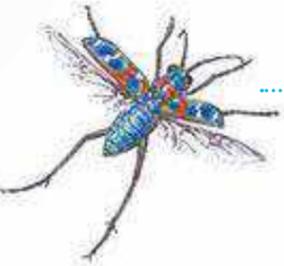
ヒカゲチョウ

カナブン

カブトムシのオス

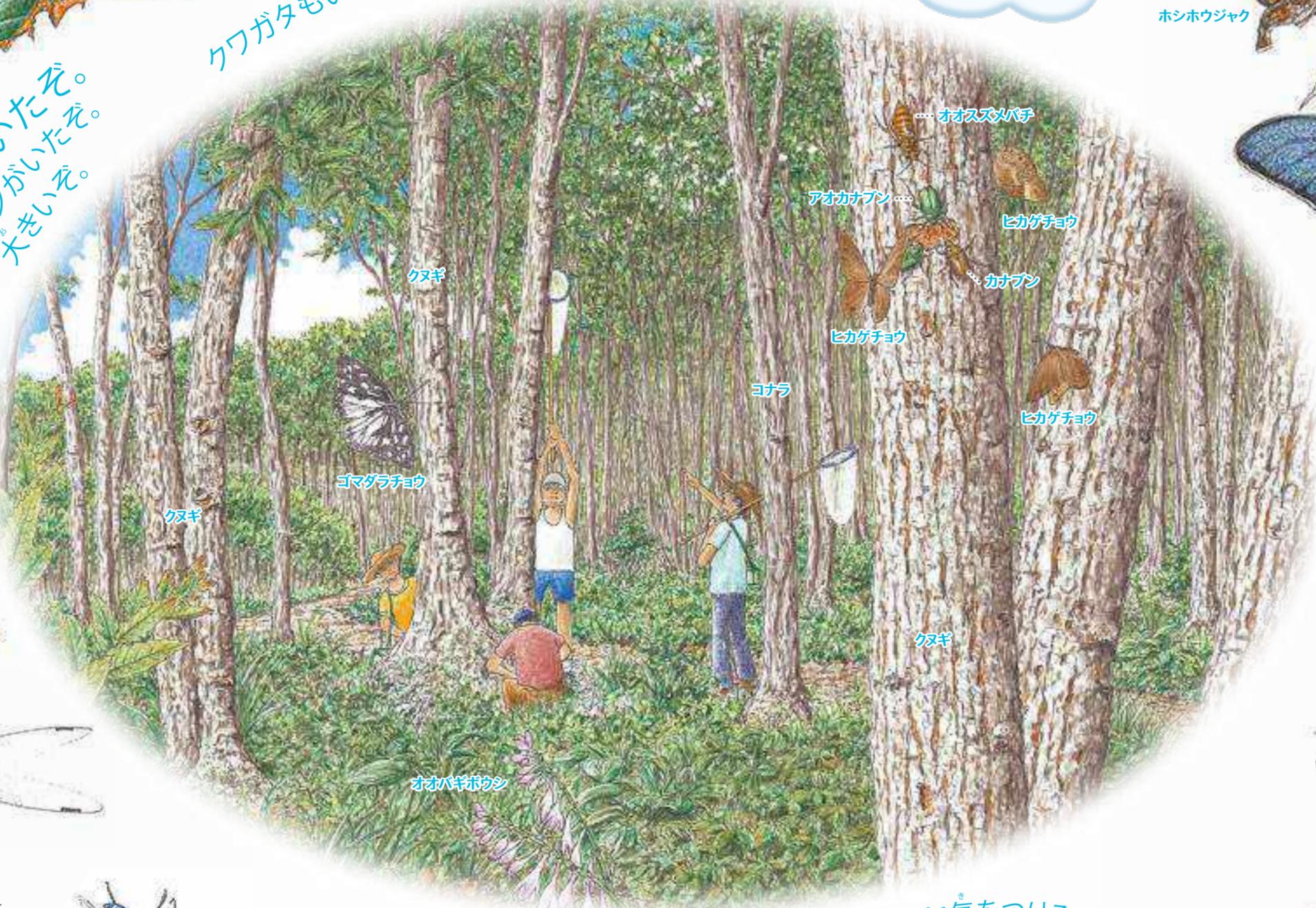
オニヤンマ

にほん さいだいきゆう
日本で最大級のトンボ。オスは
りんえん ちい なが
林縁の小さな流れなどに沿って
いっていきまじり
一定の距離を行き来し、メスを
ま
待っている。



.....ハンミョウ

ひあたりのよいつち みちなどで見られるコ
ウチュウ。歩いている人の前を案内する
ように、飛び立っては地面に止まること
をくりかえすので「ミチオシエ」ともよ
ばれる。小昆虫などを捕らえて食べる。



クヌギ

ゴマダラチョウ

クヌギ

オオバキボクシ



.....コガタスズメバチ

ハチに気をつける。

オオスズメバチに似た、やや小さいスズメバチ。成
虫はおもに幼虫が分泌する栄養液のほか、クヌギ
などの樹液や花の蜜を吸う。昆虫やクモを狩るのは
幼虫にあたるため。巣はおもに木の枝につくる。

ホシホウジャク

クサギ



カラスアゲハのオス

ルリボシカミキリ

あざやかな空色がめだつ美しい
カミキリムシ。広葉樹の枯れ木
や倒木、伐採木などに集まる。
樹皮の割れ目に産卵する。



タマムシ

ミドリカミキリ

キスジトラカミキリ

コナラやクヌギのまき



る。初夏の夜、ポーポー、ポーポーと鳴きつづける。

アオバセセリ …………… 46
青緑色の大型のセセリチョウ。オレンジ色のもんがめだつ。林縁や伐採後の草原などで見られる。早朝や夕方に活発に飛びまわり、いろいろな花に来る。

アオハナムグリ …………… 39
コウチュウでハナムグリのなかま。林縁や伐採後の草原などに咲く花に来て、花粉を食べる。

アカシジミ …… 13,46,49,50/10 ページにイラスト
コナラやクヌギが多い雑木林にすむシジミチョウ。初夏に現れ、夕方に樹冠付近を活発に飛びまわる。昼間でもクリなどの花に来る。

アカシデ …………… 6,8,13,16,24,26,30,37,39,44,46,48,50,62

平地から山地の樹林に生える落葉広葉樹。早春にふさ状の赤い花が咲き、芽は赤みをおびる。

アカスジカメムシ …………… 44
赤と黒のたてじま模様めだつカメムシ。おもにセリのなかまの花や種のしるを吸う。

アカスジキンカメムシ …………… 48
金緑色に赤色のしま模様美しいカメムシ。明るい林内や、林縁の樹木の葉の上などで見られ、葉や果実のしるを吸う。

アカネズミ …………… 18,46
樹林や草原、農耕地にすむネズミ。夜行性で地中にトンネルを掘ってすみ、おもにドングリなどの植物の種や根茎を食べるが、昆虫も食べる。

アカハナカミキリ …………… 12,48
林縁や伐採後の草原などで見られるカミキリムシ。白色の花によく集まり、花粉や蜜を食べる。幼虫は、枯れ木や伐採された木の材を食べる。

アカハネムシ …………… 44
赤いはねがめだつ、体がやわらかいコウチュウ。活発に動きまわり、よく飛ぶ。枯れ木や倒木に集まる。

アカハラ …………… 31 ページに解説とイラスト
アカマツ …………… 4,5,11,14,15,22,23,28,29,31,35,37,39,45/34 ページに解説とイラスト
アカメガシワ …… 46/47 ページに解説とイラスト
アキノキリンソウ …… 13,24,26/27 ページに解説とイラスト

アゲハモドキ …………… 46
昼間に活動するガ。幼虫は、ミズキのなかまの木の葉を食べて育つ。

アケビ …………… 41 ページに解説とイラスト
アケビコノハ …………… 48
はねを閉じて止まっている姿が、枯れ葉にそっくりなガ。外敵におそわれると、はねを広げ、オレンジ色に黒い目玉模様のある後ろばねを見せて、おどろかせる。

アサギマダラ …………… 15,25
大型のマダラチョウのなかま。明るい林内や、花が多く咲く草原をゆったりと飛び、長距離を移動し、旅するチョウとして知られる。

アサマイチモンジ …………… 44
中型のタテハチョウ。日当たりのよい林縁や、伐採後の草原などで見られる。

アシナガオトシブミ …………… 12,13,16,24,46,48,50/12 ページにイラスト

クヌギやコナラなどの樹上にすむ小さなコウチュウで、成虫はそれらの葉を食べる。クヌギやコナラなどの葉に卵を産みつけ、巻いて揺籃をつくる。揺籃は葉につけたままか、切り落とす。

アズマネザサ …………… 36,38,62,63
雑木林や野原、土手などに群生するササ。地下茎を伸ばして広がり、雑木林では定期的な下草刈りをしないと、ほかの植物が育たなくなるほど密生する。

アズマヒキガエル …………… 18
大型で動作がにぶい、夜行性のカエル。春に産卵のために田んぼや農家の庭の池などに集まる以外は、水辺からはなれた雑木林や農耕地、農家の庭などで生活している。

アナグマ …………… 46
イタチのなかまで夜行性。雑食性で昆虫やネズミ、ヘビ、果実などを食べる。するどいつめで迷路のような巣穴を掘るので、この名がある。

アブラゼミ …………… 17 ページにイラスト
茶色のはねをもつゼミ。雑木林や農家の庭など、おもに落葉広葉樹が生えている場所で発生する。オスは真夏にジー・ジリジリジーと鳴く。

アマガエル …………… 16,18
小型の黄緑色のカエル。広葉樹林や農家の庭、田んぼのまわりのやぶなどにすみ、屋は葉の上などでじっとしている。雑木林では、夜に樹液に集まる小さな昆虫をねらって、クヌギなどの幹にすることが多い。灰褐色のものほか、まれに空色や黄色のものもいる

イカル …………… 46
樹林や、そのまわりの農耕地にすむ留鳥。太く大き

なくちばして、かたい木の実や草の種を食べる。木のこずえで、ゆっくりとキーコーキーコーと鳴く。

イタチ …………… 41 ページに解説とイラスト
小型で細長い体をもつ、すばしい哺乳類。昼間も夜も活動し、田んぼや池、沼などの水辺で見ることが多い。肉食性で、ネズミやカエル、魚などを食べ、農家で飼っているニワトリをおそうこともある。

イチモンジカメノコハムシ …………… 25,47
カメのこうらのような姿のコウチュウで、ハムシのなかま。体のふちが、透明になっている。

イヌシデ …………… 6,8,13,16,24,26,30,37,39,44,46,48,50,62
平地から山地の樹林に多く生える落葉広葉樹。早春に咲く花は黄褐色。

ウグイス …………… 62/5 ページに解説とイラスト

ウグイスカグラ …………… 21,24
低木の落葉広葉樹。明るい雑木林の林内や林縁に生える。早春にピンク色の花を咲かせる。

ウシアブ …………… 16
大型のハエのなかま。するどくとがった口で家畜や人の血を吸う。樹液にも来る。

ウシカメムシ …………… 31
胸部の両はしがウシの角のようにとび出ているカメムシ。植物の葉や茎のほか、樹の幹に産みこまれたゼミの卵のしるなどを吸う。

ウスタビガ …………… 27,30,51
秋の終わりに出現する大型のガ。幼虫はコナラやサクラなど、広葉樹の葉を食べる。成虫は口がもたず、繁殖行動だけをおこなう。木の枝にぶら下がる黄緑色のまゆは独特な形で、空になった冬もめだつ。

ウバタマムシ …………… 9,13,17,25,47/12 ページにイラスト
大型のタマムシ。全体が木目模様で、にぶく光るあわい赤銅色。マツの生える雑木林で見られ、幼虫はマ

ツの弱った木や枯れた木の材を食べる。

ウmanoオバチ …………… 50
メスの産卵管がとても長い寄生バチ。体長の10倍近くある産卵管を、ミヤマカミキリの幼虫が開けた穴に入れ、幼虫の体にさして産卵する。

ウメノキゴケ …………… 62
樹皮や岩に着生する地衣類。種類が多い。大気汚染に弱く、きれいな空気の環境で発生する。

ウラギンシジミ …………… 27
はねのうらが銀白色のシジミチョウ。はねの表はこげ茶色で、オスにはオレンジ色の、メスには白いもがある。秋に多く見られる。

ウラギンヒョウモン …………… 38
タテハチョウのなかま。山地や丘陵地の明るい草原を活発に飛びまわり、いろいろな花に来る。初夏に現れ、夏眠したのち、ふたたび秋に活動する。

ウラゴマダラシジミ …………… 13,47
初夏に現れるシジミチョウで、ゼフィルスのなかま。ルリシジミのメスに似ている。クリの花などによく来る。午後に活発に飛びまわる。

ウラシマソウ …………… 26,30,31,41
サトイモのなかまの多年草。春に「仏炎苞」とよばれる特別なおおいをもつ大きな花をつける。花の先が糸状に長くのびて垂れさがった様子を見立て、この名がある。

ウラナミアカシジミ …………… 13,44,46
初夏に現れるシジミチョウで、ゼフィルスのなかま。幼虫はおもにクヌギの葉を食べ、新芽を好むため伐採して数年の若い木ばかりの林で大量に発生する。夕方から暗くなるまで活発に飛びまわる。

エゴシギゾウムシ …………… 17
背中の白い「エ」の字と、細長く伸びた口ふんが特徴のゾウムシ。エゴノキの実に、長い口ふんを使って穴を開けて産卵する。

エゴツルクビオトシブミ …………… 9,13,17,25,47/12 ページにイラスト
オスの首が鳥のツルの首のように長いオトシブミ。成虫はエゴノキの葉を食べる。葉に卵を産みつけて巻き、揺籃をつくり、葉につけたままにするか、切りおとす。

エゴノキ …… 6,7,8,9,13,16,17,24,25,26,27,30,31,44,46,47,48,49,51,62
平地から山地の樹林に生える落葉広葉樹。小さな川沿いに多く見られる。ぶら下がって咲く星型の白い花には、特にハナバチ類が集まる。

エゴヒゲナガゾウムシ …………… 17
顔面が平たくウシのように見えるゾウムシ。別名ウシヅラヒゲナガゾウムシとよばれる。オスは角のように目が飛び出ている。メスはエゴノキの実をかじって穴を開け、産卵する。

エサキモンクヅノカメムシ …………… 30
背中のクリーム色のハートマークが特徴のカメムシ。落葉広葉樹の葉の上にいることが多い。メスは卵や幼虫を守る習性がある。

エナガ …………… 26,30,31,41
雑木林などの樹林に多い留鳥。長い尾と小さなくちばしが特徴。繁殖期以外は群れて行動し、シジュウカラやメジロなどと混群になっていることが多い。おもに昆虫を食べる。ジュリ、ジュリとよく鳴く。

エノキ …………… 40
雑木林の周辺や川沿いなどの開けた場所に生える落葉広葉樹で、巨木になる。花はめだたず、秋に実る実は甘くて野鳥がよく集まる。

オオクワガタ …………… 19 ページに解説とイラスト
オオスズメバチ …………… 21,24
日本最大のハチ。オスは毒針を持たない。成虫は、幼虫がはき出す栄養液や、樹液、花の蜜を吸う。幼虫にあたるために昆虫やクモを狩る。巣は土の中や樹木のうろの中などにつくる。

オオゾウムシ …………… 24
日本最大のゾウムシ。クヌギなどの樹液によく集まる。幼虫は弱った樹木や枯れ木の材を食べる。

オオタカ …………… 11,31,36
ワシ・タカのなかまで留鳥。ネズミやウサギ、カモなどの鳥を捕らえて食べる。里山における食物連鎖の頂点の生きもの。

オオバギボウシ …………… 9,13,16,17,18,20,24,25,26,27,31,39,44,45,47,49,51,63
樹林内や林縁に生える多年草。大きな葉が特徴で、